

「家族の病気の体験」

201.10月4日

小論 3

母が人間ドックの検査で異常が見つかり、再検査を受けないといけない。と不安な顔で帰って来た時の顔が忘れられない。再検査の結果は「大動脈瘤」という大きな病気だった。手術前に医師から、手術方法の説明や病状の説明を聞くまでは、それほど深刻に深刻には考えていなかった。説明を聞きながら母が泣きだした。母もそれほどまで深刻に考えていなかった。たのだろう。「心臓が破裂してしまったら、私達はその場においても助けられないでしょ。う」の言葉で一気に病気の大きさが分かり恐くなった。母はそれ以上に恐ろしかったらう。

手術は無事終了、現在は元気で働いている。もし人間ドックで、病気が見つかったら、いかにいかに、亡くなっていたかも恐れられない。

母の病気を体験して、日頃、健康な時は忘れがちになってしまっている。健康なことが当たり前になっ、てしまっている。母の病気で健康の大事さを改めて教えてもらった。

うまくまとまっています。大動脈瘤は、場所にもよりますが、気付かずに破裂すると、大量出血となり大変です。早く発見して手術できてよかったです。

72/100